

## 第2回 運営推進会議議事録

日 時：平成29年3月4日(土) 午後4:30～午後5:30

場 所：デイサービスセンターみのり

### 1、施設長挨拶

デイサービスセンターみのり

### 2、参加者の自己紹介

### 3、利用登録状況

### 4、介護予防・日常生活支援総合事業移行について

### 5、行事及び研修と消防訓練等の実施報告

### 6、事故・ヒヤリハット報告

### 7、権利擁護(虐待事例)

・別紙資料あり

### 8、意見交換と評価(感想)

### 9、閉会

1) 第2回デイサービスセンターみのり運営推進会議の開催についての挨拶

2) 会議出席者

【運営推進会議委員】

大宅学区民生児童委員協議会	1名
老人福祉員	1名
大宅地域包括支援センター	1名
ご家族代表	1名

【デイサービスセンターみのり関係者】

施設長	1名
介護職員	1名

3) 利用登録者概要

平成29年3月現在

登録者数	17名
介護度別登録者数	要介護1(6名) 要介護2(4名) 要介護3(3名) 要介護4(1名) 要介護5(1名)
	要支援2(2名)
登録状況	月(7名) 火(6名) 水(7名) 木(7名) 金(9名) 土(0名)
平均年齢	81.5歳

前回(平成28年9月)

登録者数	12名
介護度別登録者数	要介護1(3名) 要介護2(4名) 要介護3(4名) 要介護4(0名) 要介護5(1名)
登録状況	月(6名) 火(4名) 水(5名) 木(5名) 金(8名) 土(0名)
平均年齢	80.6歳

- ◆ 半年前と比べると、登録者及び登録状況は増加しておりますが、入院されている利用者様が3名おられるため、稼働率は前回と同じ程度となっております。
- ◆ 約3年間、要支援のご利用がありませんでしたが、今回2名の登録がありました。
- ◆ 十分な空きがあり全ての曜日で受け入れは可能です。

#### 4) 介護予防・日常生活支援総合事業について

##### 1. 総合事業の要点

- ・京都市においては、平成29年4月から総合事業が開始されます。
- ・平成30年3月末で予防給付の通所介護と訪問介護は廃止され総合事業へ完全移行されます。(訪問介護と通所介護以外の予防給付は継続される)
- ・今後、後期高齢者(75歳以上)を支える15歳から74歳の負担が増えることと、前期高齢者も支え手になる仕組み作りが必要となっています。
- ・元気な高齢者(前期高齢者)等に研修を行い、総合事業の中での多様な担い手の一員として活躍して頂き、要支援状態に至らない様にする。
- ・総合事業の「介護予防・生活支援サービス事業」での通所型サービスは、3つに分類され、その中で「**介護予防型デイサービス**」が現状の「介護予防通所介護」に相当します。
- ・「短時間型デイサービス」「短期集中運動型デイサービス」が新しく加わります。

##### 2. 移行後当事業所が行うサービス

- ・サービスを提供する上で、職員体制・設備等を考慮し現行相当の「**介護予防型デイサービス**」を実施する予定です。
- ・現在検討中な受け入れ枠は、**1週間で10枠**としていますが、曜日の固定や1日の受け入れ人数に関しては、職員体制を考えて今後検討して行く予定です。
- ・但し、総合事業が始まり、各方面での利用状況や実施報告など実情が明らかになってきた場合に、柔軟な対応が出来るように考えています。

#### 5) 行事及び研修と消防訓練等の実施報告

##### 【誕生日会実施状況】

10月 1名  
11月 1名

- 12月 1名  
1月 2名  
2月 3名

内容：誕生日ケーキ、記念の手作り似顔絵プレート、写真など

#### 【行事实施状況】

- 9月 敬老祭（特別食、記念撮影）  
10月 運動会（記念写真）  
12月 クリスマス忘年会（お鍋、カラオケ、ビンゴ大会、記念写真、など）  
1月 初詣（岩屋神社、記念写真）

#### 【研修報告】

- 10月 ノロウィルスについて  
内容：①ノロウィルスの知識を学ぶ ②予防と対応  
12月 緊急時対応及び消防訓練（山科消防署指導）  
内容：①利用者の避難誘導について ②初期消火方法と消火器の知識  
③119への通報方法と準備  
2月 介護技術  
内容：①利用者別介助方法の検討 ②移乗・移動・入浴時等の介護技術

#### 6) 事故・ヒヤリハット報告

- ヒヤリハット 9月 1件（送迎時、付添の家族を振り切って道路を渡られた。）  
1月 1件（お迎えの、介助歩行で躓かれ転倒しかかった。）  
事故 1月 1件（初詣で神社の砂利で滑って転倒される。）

#### 7) 権利擁護（虐待事例）

- ・別紙資料あり

#### 8) 評価と意見交換

施設長は、全ての報告を終え、運営推進会議委員出席者から下記の項目についての質疑応答を行った。

質問1：（ご家族）

機能訓練を行っておられるが、内容を変更することはあるのか。

回答1：（施設長）

日常生活上必要と思われる機能の維持や低下予防のためにどのような訓練を行ったら良いか、アセスメント後、計画の作成を行いご本人及びご家族に確認を頂いて実施しております。

実施後は、評価やモニタリングを行い、内容の変更が必要と思われた際には、変更を行っております。

質問 2 : (大宅包括)

総合事業の受け入れは週 10 枠とあるが曜日は固定されるのか、また、現在利用中の要支援の方は何枠使われているのか。

回答 2 : (施設長)

現段階では、曜日の固定は考えておりません、登録者数が増えた場合に、職員体制など考慮して、土曜日を固定にするか検討はしております。

要支援でご利用中の利用者様は、2 名ですが、1 名の方が 4 月から要介護になられる予定のため、実数は 1 枠のみ埋まっているとお考えください。

質問 3 : (管理者)

総合事業についての情報をお聞かせ下さい。

回答 3 : (大宅包括)

現在、総合事業の取りまとめや検討を行っているが、いまだに事業者リストが不完全な状態で、どのように実施するか決まっていない。

各事業所の対応も含めてこれから、進めて行きます。

質問 4 : (民生員) 虐待の報告は、民生員にもしてもらえるのか。

回答 4 : (大宅包括)

ご近所の方の場合は、必要があれば調査に協力して頂くこともあるが、基本的には、区役所と包括で検討会議を行い、地域の協力を求めることもある。

感想 1 : (民生員)

実際に起きている虐待の事例を聞いて、驚いた。

何か協力できることは無いかと思った。

感想 2 : (老人福祉員)

2 回目の出席ですが、サービス内容や報告を聞いて、自分にも高齢の家族がいるので支援が必要になった時には利用したい。

※次回開催の連絡方法

- ・ 構成員は、同じメンバーで同意を得る。
- ・ 連絡は、FAXにて事前にお知らせします。

9) 閉会の挨拶

施設長は、本日の会議出席を感謝し、運営推進会議終了を告げ、次回開催への協力をお願いし閉会とした。

デイサービスセンターみのり